

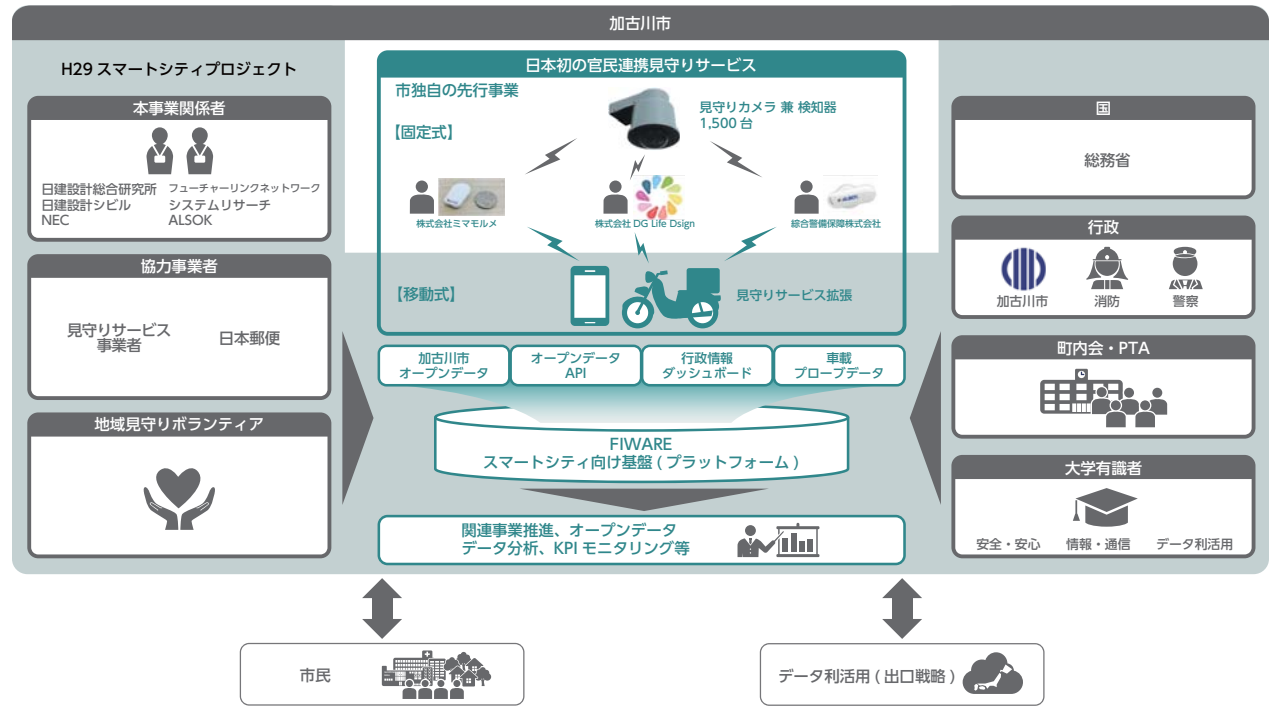
SMART CITY PROJECT

ICT と都市デザインの融合による安全・安心な都市の実現

兵庫県加古川市では、加古川市まち・ひと・しごと創生総合戦略にもとづき「子育て世代に選ばれるまち」の実現に向けて、市の安全・安心を柱とする情報通信技術利活用基盤を活用した取組を推進しています。特に、安心して子育てを行う環境の整備や、高齢化社会に対応するため、地域総がかりで見守る地域コミュニティの強化に注力しています。

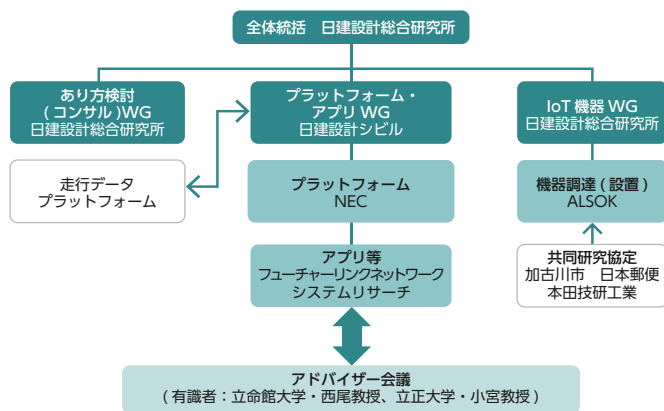
日建設計総合研究所は代表企業として、日建設計シビルや関係4社とも連携しつつ、「日本初の官民連携見守りサービス」の導入や、

生活利便向上に資するプラットフォーム・関連システムの構築といった社会実装に特に焦点を当て、都市の付加価値向上を目指しました。今後の少子高齢化をはじめとする社会の共通課題を見据えつつ、これまでのハード主体のまちづくりに加えて、ICT等のソフトも活用した都市デザインや官民連携の取組（社会実装）を支援します。



事業の実施体制

総務省：H29年度データ利活用型スマートシティ推進事業に選定 全6社にて実施し、アドバイザー会議での有識者（立命館大学・西尾信彦教授、立正大学・小宮信夫教授）のご意見を事業に反映



FIWARE を活用したプラットフォーム構築

EUで開発・実装された基盤ソフトウェア「FIWARE」（ファイウェア：オープンソースソフトウェア）を活用したスマートシティ向け「データ利活用基盤サービス」を本年3月より運用開始



かがわアプリへの見守り機能実装

自治体アプリとしては日本初となる、複数の見守りサービス事業者の見守りタグ（BLEタグ）の信号を受信できる機能を実装（本機能をONにすると市民のスマートフォンが見守りサービスの検知器として機能）



郵便車両へのIoT機器搭載

加古川市、日本郵便株式会社、本田技研工業株式会社の協定に基づき、市内の郵便車両176台にIoT機器（①道路保全のための画像撮影用カメラ、②よりきめ細かい見守りサービスの実現のための見守り共通検知器、③走行データ収集用通信機器）を搭載

